



平成21年2月  
〒781-8555 高知県高知市池2125番地1  
高知県・高知市病院企業団立高知医療センター  
(平成20年度高知県がん診療連携拠点病院機能強化事業)

患者さん、ご家族、県民の皆様へ  
医療関係者の皆様へ

がんの痛みと向き合うために



～『医療用麻薬モルヒネ』について～

高知県・高知市病院企業団立 高知医療センター 緩和ケアチーム

## 目次

- |                          |   |
|--------------------------|---|
| (1) はじめに                 | 1 |
| (2) がんの痛みの複雑さ            | 2 |
| (3) モルヒネにかかわる誤解と迷信       | 3 |
| (4) がんの痛みにモルヒネが使用される理由   | 4 |
| (5) がんの痛みの治療目標           | 5 |
| (6) がんの痛みの治療における医療従事者の心得 | 6 |
| (7) モルヒネのおもな副作用          | 7 |
| (8) モルヒネのまれな副作用          | 8 |
| (9) 終わりに                 | 9 |

## はじめに

今の時代、二人に一人はがんになる時代です。ここ数年の間に手術、放射線治療、化学療法の進歩で、がんの治療成績も向上し、がん患者さんの寿命も延びてきております。

しかし、がん患者さんの寿命が延びてきたということは、がんと共存する期間、がんの痛みと付き合う期間も長くなるということです。

この小冊子はがん患者さんの痛みをとる治療の主演となる『医療用麻薬モルヒネ』について書かれています。

小冊子を読むことで、がんの治療中に起こる痛みを理解し、痛みを克服されて、がんの治療に不安なく専念していただけたらこんなにうれしいことはありません。

## がんの痛みの複雑さ



### 身体的な痛み

がん自体の痛み、  
がんの治療(化学療法など)の  
副作用



### 社会的な痛み

治療にお金がかかる  
仕事を失う事への不安  
社会からの疎外感  
孤独感

### 精神的な痛み

不安  
疑問  
怒り  
恐怖

全人的な痛み



### スピリチュアルな痛み

どうして私だけこんなに苦しまなければ  
ならないのか?  
私の人生は  
何だったんだろう?



がんの痛みはこれらの原因がいくえにも重なりあった痛み  
(全人的な痛み:トータルペイン)とも言われています。

【Twycross 1997による】

## モルヒネにかかわる 誤解と迷信

1. ヘロイン、大麻などの不正麻薬(法律で禁止されている薬物)とは違い、モルヒネは医療用麻薬です。

モルヒネが社会問題になったことはありませんし、医療の中でしか使用されません。

2. モルヒネは適切に使う事で中毒は生じないといえます。

がんの人にモルヒネを使用しても中毒が生じないことは科学的に証明されています。

モルヒネは単に鎮痛剤です。



## がんの痛みにモルヒネが 使用される理由

1. 痛みの強さに合わせて調節できる安全な薬です。

昔から、モルヒネ自体がよく研究されており、内服の仕方なども確立されています。起こる副作用も予想でき、その処置も確立されています。



2. モルヒネは他の消炎鎮痛剤に比べて、いろいろな痛みに効果がありますし、何年もの期間内服できます。

消炎鎮痛剤のように、痛みが強くなるにつれて、効果がなくなること(天井作用)はありません。

## がんの痛みの治療目標

まず第一目標を目指し、  
達成されると次に第二目標、  
最後に第三目標を目指します。



- 第一目標：夜間眠ることができるようになる。  
(痛みで目がさめない状態)
- 第二目標：安静にしていれば、痛くないようになる。  
(笑ったり、咳をしても大丈夫な状態)
- 第三目標：からだを動かしても、痛くない。  
(痛みが軽度で、普通の社会生活ができる状態)

## がんの痛みの治療における 医療従事者の心得

1. 痛みがなくても、痛みが出て来ないように先手を打って、一日のうちで決まった時間に使用します。
2. 患者さんの一番負担にならない方法で使用します。内服できなければ、最初から胸に貼るお薬や注射を行なう場合もあります。
3. 患者さんの痛みの強さにあわせて、段階的にモルヒネなどの麻薬の量を調節します。
4. 便秘や吐き気などの副作用対策をしながら使用します。
5. モルヒネなどの麻薬と消炎鎮痛剤の2つの鎮痛薬の併用で使用します（ダブルブロック）。

## モルヒネのおもな副作用

1. **便秘**  
モルヒネ内服ではほぼ100%に生じますので、緩下剤の使用で改善をはかります。
2. **吐き気、嘔吐**  
約60%に生じるため、その予防として制吐剤は必要ですが、数週間でおさまることが多く、その場合制吐剤は中止できません。
3. **眠気**  
内服の最初の2～3週間ぐらい続き、その後、改善することがほとんどです。



## モルヒネのまれな副作用

睡眠薬などと同じように、まれにモルヒネなどの麻薬の使用中でも、意識障害（錯乱）<sup>さくらん</sup>をきたしたり、実在しないものが見えたり（幻覚）することがあります。

これらの症状が出てきたときはモルヒネの減量、中止が必要となりますので、処方を受けた主治医、担当看護師、薬剤師などへご連絡ください。



## 終わりに

1. がんの痛みをこらえるためだけに、大切な一日を過ごしてしまうことほど、もったいないことはありません。
2. モルヒネなどの麻薬を適切に使用することで、がんの痛みは軽くすることができます。ひいてはがんの患者さんが、自分の病気に向き合うための助けになると思います。

3. がんは今では痛みで苦しむ病気ではありません。

（日本ペインクリニック学会）

